

九州電力

# 豊前1号機営業運転開始

## 2年間に及ぶ建設工事終了 引き続き日常整備体制に入る

〔豊前=12月9日〕福岡県豊前市大字八屋に建設が進められていた九州電力株式会社豊前発電所1号機（出力50万KW）は、52年12月9日官庁の使用前検査に合格し、営業運転を開始した。

当社は豊前1号機建設に関して、ボイラ据付および電気計装を石川島プラント建設株式会社、タービン・発電機据付および電気計装を東京芝浦電気株式会社、電気集塵装置なら

びに屋外変電設備を日立プラント建設株式会社、排煙脱硫装置を川崎重工業株式会社、空気予熱器装置をガデリウス株式会社、電気設備を三菱電機株式会社、補給水処理装置、復水脱塩装置をオルガノ株式会社、碍子洗浄装置を日本碍子株式会社、海水除塵装置を宇部興産株式会社からそれぞれ受注し、51年1月豊前建設所（久富賢一所長）を設置して工事に取組んだ。

工事は、51年6月22日ヘッド揚げ、51年11月10日ボイラ水圧検査、52年4月28日ボイラ火入れ式、52年6月7日タービン通気式と順調に工程を消化し、6月20日の初併列以降試運転を続けていた。

豊前1号機の運開により、当社はまる2年間に及ぶ同機の建設工事をすべて終了した。これにともない、当社では、52年12月9日豊前建設所を廃止、よく12月10日付で豊前事業所（中野美道所長）を設置して引き続き日常整備体制に入った。

豊前1号機の主要機器概要はつぎのとおり。

〔ボイラ〕

FW放射再熱式超臨界圧貫流ボイラ 蒸発量1,750T/H

〔タービン〕

串型再熱3車室4分流排気式  
定格出力 50万KW

〔発電機〕

横軸円筒回転界磁型同期発電機  
定格容量 58万9,000KVA

運開した豊前1号機

